

代表質問 (要旨)

市議会ホームページにて代表質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

自由民主党
鈴鹿市議団

野間 芳実 議員

令和2年度施政方針について

(質問) 教育ICT環境整備は今後どのようになるのか。校務の情報化を図ることで教職員の働き方改革をどのように進めるのか。

(答弁) 本市の教育ICT環境整備率は、全国平均と比較すると低い状況であるため、整備のための予算を措置し、現在、市内の小中学校に大型提示装置を950台、実物投影機を682台設置

し、授業の展開に応じ、児童生徒1人1台の利用ができるコンピュータを3,200台、教員1人1台のコンピュータを1,300台、統合型校務支援システムや学習支援システムの導入などを進めている。新学習指導要領の全面实施となる令和2年度からは、小中学校でICTを活用した授業をこれまで以上に実施できるものと期待している。また、ICT環境の整備に伴い、教職員の校務における事務負担の軽減にもつながり、教職員の「働き方改革」にも効果が得られると考えている。

新緑風会

大杉 吉包 議員

施政方針について

(質問) 人口減少社会における本市の将来都市像の実現に向けて、①競争力のある産業の創出と雇用の創出について、②地域共生社会の実現に向けた障がい者福祉について、③地球温暖化対策について、④行政経営のさらなる強化について問う。

(答弁) ①第一次産業について農業者や漁業

者の担い手の確保、育成に努める。新名神高速道路の鈴鹿PAスマートIC周辺での土地地区画整理事業により、工業団地を造成して優良な企業を誘致する。②地域共生社会の実現に向けて基幹相談支援センターの機能強化に取り組む。③農業面において新たな品種の導入や適応技術の普及などを推進する。施設の更新時に可能な限り環境負荷の低減を図るなど、引き続きソフト面・ハード面の施策を推進する。④市民ニーズに的確に対応できる行政経営を進め、市民満足度を向上させていく。

市民クラブ

藪田 啓介 議員

施政方針について

(質問) 「みんなが輝き 健康で笑顔あふれるまち ずずか」において障がい者の方の自立支援を一層強化するとあるが、中小企業における事業協同組合等算定特例を活用した障がい者雇用率の向上についての取り組みはどうか。また、従来、家庭の問題とされていたひきこもりと親の高齢化に伴う8050問題について

施策はどうなっているのか。

(答弁) 障がい者雇用の場の創出は大変重要であると認識しており、従来からの就労マルシェ農福連携事業など本市独自の施策の継続と併せて事業協同組合等算定特例についても注視し研究を進める。また、ひきこもり・8050問題については高齢者、障がい者、生活困窮者、ひきこもりや親の高齢化問題など、いわゆる制度のはざまにいる方々に対して既存の制度にとらわれない総合的・包括的な相談支援体制の構築が必要だと考えている。

鈴鹿太志会

明石 孝利 議員

令和2年度 市長の施政方針を問う

(質問) 鈴鹿市総合計画2023後期基本計画が始まるが、将来都市像を支える5つの柱と自治体経営の柱の6つの柱について、①第1の柱、災害時における要援護者への対応、②第2の柱、外国人児童への日本語教育、③第3の柱、障がい者の医療費窓口無料化、④第4の柱、公共交通と高齢者問題、⑤第5の柱、本市の観光

入込客数500万人超の活用、⑥第6の柱、外国人市民の支援に向けた“相談窓口ワン・ストップ・サービス”を6つの柱のコアとして取り組むべきと考えるがいかがか。

(答弁) ①各団体との連携による積極的支援、②多文化共生社会での積極的な取り組み、③持続可能な制度とするために適切な運営、④高齢者視点も踏まえた地域公共交通網形成計画の策定、⑤さらなる交流・関係人口の創出、⑥外国人市民の相談窓口の拡充などの検討について取り組んでいく。